



東京ジャーミイ文書館のロゴマークである
「花と鉢と曲線」は、
日本で最初のアラビア語版クルアーン
（『コーラン』、一九三五年）の印刷・発行をはじめ、
学習者向けの教科書や国内外向けの情報誌の刊行を中心に
活動していた旧・東京回教印刷所の印刷物に
使用されていた図像です。

「花を贈られたら受け取りなさい。
なぜなら花は軽く、とても良い匂いがするから」
—— 預言者ムハンマドの言葉

先人の贈り物である知識という花の、
軽やかで匂い立つ喜びを共に分かち合い、
未来に届けたいという思いを込めて復刻しました。

東京ジャーミイ文書館

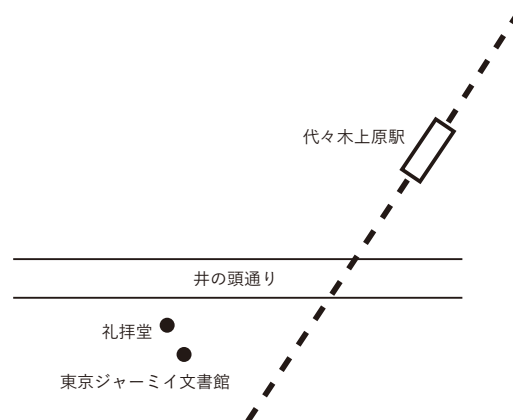
✉ institute@tokyocamii.org

☎ 03-5790-0760

〒 151-0065

東京都渋谷区大山町 1-19

（小田急線・千代田線 代々木上原駅下車 徒歩5分）



東京ジャーミイ文書館

TOKYO CAMII INSTITUTE





東京ジャーミイ文書館について

来歴と理念 東京ジャーミイ文書館 Tokyo Camii Institute は、テュルク文化・イスラーム文化を研究・調査し、その成果を広く内外に発表するための場として設立されました。1938年建立の東京回教寺院を前身として2000年に開堂した東京ジャーミイに並び、1935年に設立され、日本初のアラビア語クルアーン印刷・出版を始め、各種教科書の発行、イスラーム教育の提供、研究者の支援等を通して知識の共有と文化の発展に貢献した東京回教印刷所の精神を引き継ぎ、未来へと橋渡しすることを設立趣旨のひとつとしています。



活動内容

研究所開所の構想は2019年、東京ジャーミイ内の書店「キタプチ」の開設に端を発します。その実質的な活動は2021年、東京ジャーミイにつどう研究者や学生有志による古典文献の講読会をもって開始されました。2022年以降の主な活動内容は以下の通りです。

I 教育・啓蒙活動

- ・語学講座の運営（アラビア語講座）
- ・古典講読会の運営（古典アラビア語・オスマントルコ語）
- ・公開文化講座の運営（イスラームとその関連分野の研究者による月例講演）
- ・各種スンナ派イスラームの古典の翻訳や中東地域研究の研究書の翻訳
- ・翻訳者会議（仮称）



II 研究・調査活動

- ・文化的資料の管理と修復、蒐集ならびに研究調査（アラビア語クルアーン印刷機と銅板の保全）
- ・卒論/修論/博論等の執筆支援（ジャーミイを通じた日本の改宗ムスリムに関する社会調査・インタビュー調査などへの支援）

III 研究者支援活動

- ・会議室の貸し出し含むシンポジウム等の運営・勉強会支援
- ・海外の教育機関との連携・交流（留学支援含む）

